「新型コロナウイルスへの対策は」
『スピード感・規模感をもって支援に努める』

永友良和（ながともよしかず）議員

問 新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金の額と使用方法は。

地域政策課長 交付限度額は1億3833万2000円で、新型コロナウイルス緊急対策支援事業や、子育て世帯応援給付事業等8つを計上している。

問 家賃が発生する飲食店においては、オーナーさんの判断で、家賃を半額にして頂いている所もあるが全てではないようなので町長からお願いできないか。

町長 現在、国において家賃補助が検討されているので、状況も踏まえ検討する。

問 オーナーさんへの所有ビルの固定資産税の減免は。

町長 必要な場合は追加支援を考えなければならない。持ち家の飲食業者の方の固定資産税の減免は。

町長 国、県の支援制度の動向を勘案し追加支援も検討する。

◆新型コロナウイルスによる小中学校への影響について

問 休校によるカリキュラムの遅れは。

教育総務課長 各学年50時間前後、各教科平均3～5時間程度。予定より少ない。

問 児童生徒の健康面や心のケアについて。

教育総務課長 独自のチェックリストをもとに感染防止対策を徹底し、心のケアにおいては、家庭との連携を密にし、面談等を通じ不安や悩みを取り除く取り組みを始めた。

問 今後の対策は。

教育長 感染予防に努めながら児童生徒の安全安心を第一に考慮し、学習機会や給食提供に努力することが最重要。

◆鍋の町への取り組みについて

問 鍋のロゴマークを利用し鍋による飲食店街の活性化は。

↖

「コロナによる学習の遅れは生じないか」
『準備している計画で問題はない』

中村末子（なかむらすえこ）議員

問 休校による学習の遅れが心配されているが、大丈夫か。

教育長 現在準備している計画対応で問題ないと考える。

問 オンライン教育のいい所、解決すべき課題があるがどうか。

教育長 報道ではあまり出てこないが、実際は画面に集中してプログラム通り学習するのは、学習訓練が必要であるとの専門家の指摘もある。

児童生徒にとっての教育効果等を見極めながら、有効な形で導入を検討したい。

◆行政財産とは

◇公共用に供している財産

問 自治用語辞典における行政財産とは何か。詳細な答弁を。

普通財産とは相対し、直接使用する公共財産、例えば市町村役場等があり、公共用に供するべき財産をいい、交換、売り払い、譲与、私権を設定することが禁止されている。（後は割愛）

町長

問 処分に関して地方自治法238条の4項はどの様に規定しているか。

財政経営課長 貸し付け、交換、売り払い、譲与、私権を設定できないとある。

問 商工会議所が示された建設費の中には、地盤調査はなかったと思うが。

財政経営課長 地盤調査費を含んだ費用と何っている。

問 費用は書いていない。健康づくりセンター建設の時もしていますよ。

財政経営課長 ご心配はごもっともだと考えますが、震度7でも倒壊せず、耐震基準を満たすものだと考えている。

問 建物が完成してていない、建設費も確定されていない。自分の家を建てる時も、設計図及び仕様書、強度等の図面、そ

↖

「コロナウイルス感染拡大に伴う農家支援は」
『生産者支援につながる販売促進に努める』

日髙正則（ひだかまさのり）議員

問 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、販売不振に苦しんでいる現状と農家経営をどのように考えておられるか伺う。

町長 国・県の各種給付金や補助金、融資制度等について、パンフレットやホームページ等により積極的な情報発信に努め、JAと共に生産者の経営支援に努めてまいりたい。

◆高級食材、牛肉、マンゴー、メロン等の支援について

問 高品質な牛肉は、取引先の休業などで販売不振となり、相場が大幅に下落しており、厳しい経営になっている。担当課としての認識を伺う。

農業政策課長 3月販売分の牛マルキンは、本県は1頭当たり、17万1711円の交付金単価で、4月も引き続き厳しい状況が続くと考えている。

「コロナ禍でもがんばる飲食店街」

町長 町をアピールする上でも利用価値は十分あり、商工会議所や観光協会と連携し、考えていく。

問 ◆町長選について 次期町長選出馬について。やり残したことが多く、さらにスピード感を持って、充実した町づくりのため、立候補する意向です。

意見 台風等の災害はもとより、コロナウイルスのような災いに負けない、強い高鍋づくりを目指してほしい。

れに伴う材料の選定します。

議員協議会で示された図面は紙きれ1、2枚、私を説得できますか。

町長 納得はその人の能力ですので、失礼ながら、納得できる能力があるかないか、多くの議員には理解して頂いているので、理解する力がどうなんでしょうか。

意見 町民の間からは、建設業者の名前も既に上っています。これは恥しい事です。歴史に禍根を残さない町政運営を望みます。

問 新型コロナウイルス感染拡大の影響でアールスメロンの販売価格が下落し、苦しい経営を強いられている。担当課の認識を伺う。

農業政策課長 急激な市場価格の低迷に代表される様々なリスクから、農業経営を守るために収入保険の加入を積極的に、推進していく。

問 新型コロナウイルス感染拡大の影響でマンゴーの4月の単価が例年より、3割下落との事で、苦しい経営を強いられている。担当課の認識を伺う。

農業政策課長 国・県の取り組みに歩調を合わせ販売促進などに取組み、家庭内消費の喚起に繋げていく必要がある。

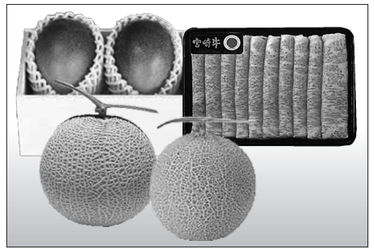
◆外出自粛で消費量減少に対する対策について

問 焼酎の消費量が落ち込み、減反要請がきている。担当課の認識を伺う。

農業政策課長 今後の減反要請の拡大によっては、次期作支援等について、しっかり検討していかなければと考える。

問 町として、今後、どのような支援を考えているか伺う。

農業政策課長 JA、関係団体と協力体制を整え、生産者支援につながる販売促進をしていく。併せて、地産地消の取組みにつなげ、安定的な供給と消費の好循環につなげてまいりたい。



「コロナの影響で販売が落ち込んだ高級食材」